週刊
勤勞タイムス
毎週日曜日發行
定價 一部一圓五十錢 一ヶ年六十圓
廣告 一行二十圓 場所指定十圓增
福島縣平市南町六七 印刷所 昭和印刷所
福島縣平市大町八番地 編輯發行印刷人 木村安次

平市五丁目
久 釜屋商店
會計 諸橋元三郎
電話九番九九番

東北、關東水害地 救援運動の提唱

關東、東北の大水害地、被害者各位に對し我が勤勞タイムス社は衷心より御同情申し上ぐると共に之れが救援運動に蹶起されている各地の同情者に敬意を表するものである、我が福島縣下は幸ひに大害をまぬがれたが關東、東北兩水害地の中間に位し救援に最も手近かである点からして縣當局並に縣民諸氏の奮起により適當なる救援運動を展開する必要を痛感し之を提唱するものである。以下各地の救援運動を紹介し參考に呈す

▼…東京の街頭では中學校や小學校の生徒が義損箱を持出したし、日赤が三億圓を目標として災害資金の募集に乘出す

▼…京都、和歌山、奈良の府縣廳から早速見舞金を送つたし、京都府市商工會議所では四百萬圓、愛知縣教育會では五十萬圓の義損金を集めようと涙ぐましい活躍をしている

▼…東京都自家用自動車組合が千五百台のトラックを無償貸付を政府に申出た同組合では全國組合にも呼びかけるといつている

矢郷礦勞爭解決

矢郷礦の交渉は二十日から勞資双方とも縣勞委の調停案を受入れ三ヶ月振りで解決水害復舊のため增產に馬力をかけることになつた

一、福利厚生費として六十萬圓を會社は組合に出す

一、甲勤稅は會社負擔は新賃金性により自然消滅す

◎平戰災復興 都市計画雜感（一）

敗戰後二年有余になる今日日本の石炭增產のトップとして現在期待されて居る常磐炭田の中心戰災都市平がその復舊未だしの感が一般人にいだかせて居るのは何故であらうか復舊の原因は色々有ると思ふ敗戰に依るインフレの激增資材資金の不足インフレに依る勞力の不足其の他有るが、其の一つに平市民の不協力が遲々の原因の一つと考へられる昔より石城の人間は「人の出世ねたむ」とか「人の惡いは石城の平」とか色々と云はれてますが現在もその如き考へが不協力の一面を持つて居るやうに思はれる平市民にも此の協力、熱意の精神がもう少し持つて欲しいと思ふ。平の都市計畫は復興院に於て統割し福島縣が事業主体となつて決定したものであつてその技術的見地より計畫したるものに對して云々すべきものでは無と思ふ。復興計畫反對派の意見も此の前の土地が道路に成るのでは文句無しに反對するのが當然ですがその道路に成る土地のために換地を行ひます換地は事業主体に於ても換地する土地は將來に於て現在の持てる價値以上になる樣に計畫する、事を一大眠目として計畫して居るのですから、各人共現在多少の利害の新聞で讀みましたが反對の原因は單に「自分の土地が今迄通り自分の土地で無く外に別に換地される」事のみが主原因であつて其の他の反對項目は單に追加としか考へられません「自分の土地が道路に成る」これは因襲的封建的氣持を持つて居る平市民にとつては祖先傳來の得矢は有ると思ふがそこを個人の繁榮のため平市の將來の大發展のため、ひとは新日本建設のために贊成してこそ民主的、進步的平市民と言はれるのでは無からうか大体反對派の諸氏には火災と都市計畫と言ふ事を考へた事が有るだろうかそも〳〵火災の發生を防ぐことが必要ではあるが、擴大を防ぐ事が都市構築上更に必要であると思ふ。それには第一に都市計畫的措置即ち充分に空地を保留するに有る。街路廣場、公園等の公共用地を擴充すると共に個々建築の强化即ち不燃構造と成し併せて不燃都市を建設する事である。第二に於ては消防機能の充實である之には說明の必要はないであらう（次回に續く）

（一市民・MT生）

古着の御買物は格安の正木商店へ
錦町鮫川橋際

赤井小川鄕間の道路修理始める

今迄赤井小川鄕間を通ずる道路は修理を加へなかつた爲に道路は雨の降る度事にぬかるみとなり村民や其の他一般人に迷惑を掛けて居たが此の程赤井村々長吉田万吉氏を始めとし蓮沼縣副議長並に野崎常磐交通社長氏等關係者一同が協議の結果來月初旬頃より修理着工ときまり平土木監督所と連絡のもとに始められる又此の道路修理に努力されて居る吉田村長は之が完遂に邁進し完ふしたいと語つて居る村民は吉田村長の手腕を期待して居る尙同氏は村民の協力をも要望している前記道路修理完成の曉は平―赤井―小川鄕を結ぶバスの運轉を開始し同地方の交通に貢献以て關係市町村の發展を期したいと野崎常磐交通社長は胞富を語つている

【鈴木記者】

小川鄕驛前の美化運動

今迄小川鄕驛前の一部が野原同樣になつて居たが小川鄕新驛長後藤恒治氏は小川鄕驛を明朗な驛にしやうと驛員に呼び掛けたそれを知つた小川鄕驛前青年團長櫛田氏を始め團員一同が協力し驛前の美化に奉仕したゝめ生れ變つたように美化せられた小川鄕驛が出來上つた

小名濱町
清水屋
小野義一
電話六番

植田町で酒の登錄問題化す

植田地區の酒類販賣所は部落に一、町内に四ヶ所であるが、同地の酒類販賣業者は購買者の人數と登錄店を割當指定し登錄せしめて居るが、登錄は各購買者の自由であるとなし購買者側では斯くの如き登錄行爲は不當なりとして相當問題化している町、當局としては何等の指示なき爲め之に對しては何等の手を打つべくはないと言つている

【植田支局發】

感謝される文化掲示板

此の程平車掌區勤務、中條實氏を始めとする鈴木松男草野立男氏小川郷驛員並に通勤者其の他各關係者一同が協力の基に小川郷驛前に文化掲示板を設立したが常に感謝されて居る、掲示板には文化新聞、ポスター、役場通信其の他を掲示し乘降客に一人でも多く見てもらうため設立したものである、尚中條氏は通勤者組合を設けて通勤者の親睦を計り明朗な小川郷驛にしやうと努力中である、同氏の行爲は常に模範的であり乘降客の感謝の的となつて居る又中條氏の前途と小川郷驛の發展は大いに期待されて居る

相馬スポーツ大會

郡スポーツ連盟では左記日割で秋季大會を開く

▼十月陸上選手權大會（中村町）
▼十月五日少年野球相馬選手權大會（中村町）
▼十月十七日球技大會（中村町）
▼十月廿六日相撲大會（鹿島町）
▼十一月卅日驛傳競爭（中村―小高間）
▼十一月卓球大會（小高）
▼九月廿四大舘村小學校では秋季運動會を開く

私文書僞造か詐欺か巧みなセメント賣り

内郷町下綴高野作二〇番地炭礦業菅野光麟（三〇）は四倉セメント會社よりプラスターセメント三〇〇俵出荷し得る傳票だと稱するものを新潟市本町通り八番地所在の大成建設株式會社新潟支店側に提示之を去る九月七日平驛より貨車積とし發送せしむべく契約をなし、去る八月十六日に二萬五千圓九月一日五萬圓三千圓の代價を受取つたが、期間が來ても發送しないので九月二十日前記新潟支店側は平市川内德太郎方に關係者は前後處置につき會合したが結極菅野光麟は傳票を破棄したなどと謂ひ言語曖昧にして發送の見込もなければ被害者側はは解約するに至つた模樣である

告社　退社御挨拶

小林清

小生儀勤勞タイムス社副社長兼主筆として多年各位の御聲援を賜り大過なく今日に至りましたが、此の度一身上の都合により當社を辭職致しましたので茲に各位に對し御厚情を深謝申し上ぐると共に今後は個人としての御交際の程御願ひ申上げます。尚在職中の責任は退社後といへども小生に於て引受け各位並に當社に對し聊の御迷惑をも相掛けませんから何卒宜敷御諒承下さる樣御願ひ申上げます

右御挨拶旁々御願ひ迄

選擧管理補充委員　消防委員選定さる

平市會は去る二十二日午後一時公會堂日本間に開かれ阿部助役に選擧權を附與する事を可決、同氏を市會議員選擧管理委員補充委員に任命した同市會で消防委員を速記による投票により小松茂、齋藤角治、柏原秀藏鈴木政一、金成國雅氏の五名が選定された

アメリカ映畫の大作
ウオナブラザース映畫
ロバートアルダ
ジョーンレスリ主演
アメリカ交響樂
九月三十日至十月六日迄
聚樂館

レンズ
左黨よ喜べ
◆鋸屑、藁稈、籾殼、豆殼笹、葺等の纖維素含有物を塩酸、硫酸等の酸で糖化し其の糖液を原料として酒精醱酵を行ひ酒精を造り酒に加工する、甘藷、菊芋、どんぐり等濱の眞砂は盡きるとも世に酒の種は盡きぬ

小名濱麻雀倶樂部
皆樣の娛樂場として
八月二十二日より倶樂部
を開設しました
特に初心者を歡迎致します
場所　幸樂内

馬車、荷車製造
鈴木製車店
平市新川町二五

新發賣
電氣ハーモニカ
（ラジオヘ取付ラレル）
其他
各種樂器、絃、樂譜豊富
（商品案内呈）
トンボ樂器特約店
菊屋樂器店
平市二丁目

移轉お知らせ
家庭金物、農機具卸小賣、諸機製造工場直結
柳内商店

營業品目
佛具品
佛壇
御位碑
佛金具類
造花調製
常磐線平市本町四丁目
山光堂商店
電話五五〇番

純喫茶
毎度有難う御座居ます
只今女店員急募
年齢十七才より二十六七才迄住込
小名濱町上町
小名屋

麻雀
平南莊
平市南町

平市四丁目
關内藥局
電話四〇番